

3年

国語

しゅうしよく
修飾語を使う

3年

組

名前

ア「どんなだ」 イくわしく
ウ「だれが(は)」 エ述語
オ修飾語 カ主語

「どんな」「どのくらい」のよう
文の意味を□にする言葉を
□と言います。

文の中で「何が(は)」□に
当たる言葉を□と言い、
「どうした」「どうする」□
「何だ」に当たる言葉を
□と言います。

れい文

(どんな) 主語 (どのくらい) 述語
赤い 花が たくさん さいた。
修飾語 修飾語

①言葉のきまりについて、れい文を見て、
当てはまる言葉を□からえらんで
□に記号を書きましょう。

記号はそれぞれ
一度しか
使えないよ。



きんた



りく



かりん



②①～⑤の…の修飾語はどの言葉に係りますか。
係る言葉の右がわに―を引きましょう。

①レンはかりんに本をかした。

②ミオはきれいなにじを見た。

③リクはみごとにシュートを決めた。

④きんたは□を開いてねていた。

⑤ゆいはめがねをきれいにふいた。

③①②の―の言葉は修飾語のどれに
当たりますか。□からえらんで
()に書きましょう。

①レンはきのう川できんたと
() () () ()

魚つりをした。

②かりんの弟は公園の中を
() () () ()

ぶらぶらと歩いた。



レン



ゆい



ミオ

だれの・どこで・何の・どの・ように
何を・だれと・どこを・いつ

※言葉は
それぞれ
一度しか
使えません。